

令和7年度
事業報告書

社会福祉法人
大山町社会福祉協議会

令和7年度重点目標に対する評価

1. 全職員が経営意識を持ち業務に取り組む

毎月の収支状況と今後の事業展開を正規職員全体で定期的に共有し、経営情報の透明化を図った。組織全体で経営を支える土台が整いつつある。

2. 介護及び障がい福祉サービスの安定運営

月2回の介護部会で各事業所の収支データ等をもとに課題を具体的に抽出し、改善策を議論・実行することで収支の好転につなげた。並行して生産性向上委員会が業務フローの見直しや記録業務の効率化等の取り組みにより、支援の質を維持しながら職員の業務負担の軽減が進みつつある。

3. ふれあい・いきいきサロンの自主開催促進並びに小地域福祉活動の発展

担当者による継続的な伴走支援の結果、新規立ち上げ6集落・活動再開3集落の計9集落でサロン活動が動き出した。住民主体の運営が根付くよう、立ち上げ後も定期的な関わりを続けており、自主運営へのスムーズな移行を後押ししている。

4. マルチプレイヤーの育成

介護課職員が地域福祉座談会やふれあい・いきいきサロンに参加し、地域住民の生活実態や福祉ニーズを現場で直接把握する機会を設けた。介護の専門スキルに地域福祉の視点を加えることで、利用者を地域全体で支える複合的な対応力を持つ職員育成に取り組んだ。

5. 地域の福祉関係者等との連携協働による地域課題解決

大山町わいわい福祉ミーティング等の関係機関との会議に継続的に出席し、移動手段の不足や孤立といった地域の福祉課題を具体的に把握・共有した。その情報を整理・集約する形で、社協が主導して「大山町交通資源・集いの場マップ」を作成し、住民や支援者が活用できる実践的なツールとして提供した。

6. 社協会員・会費制度の理解促進

職員が手分けして町内約130の企業を直接訪問し、社協が担う地域福祉の役割と会費制度の仕組みを丁寧に説明した。その結果、約70企業から賛同・協力を得ることができた。

7. 災害時に迅速に対応できる体制整備

外部関係者も加えた災害ボランティアセンター設置模擬訓練を年1回実施し、センター運営の手順や役割分担を実践的に確認した。また、BCP（事業継続計画）に基づく机上訓練により、職員が災害時の意思決定プロセスを具体的にイメージできる機会を設けた。平時からの反復訓練を通じ、有事への対応力を確実に高めている。

法人運営・地域福祉事業

1. 社会福祉協議会組織の運営

(1) 会議の開催

① 理事会の開催

回数・期日・会場	出席者	議案	結果
第1回 令和7年5月26日(月) 保健福祉センターだいせん	理事7名 監事1名	1. 令和6年度事業報告及び決算(案)について 2. 新理事及び監事候補者の選定について 3. 新評議員候補者の選定について 4. 令和7年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について 5. 令和7年度定時評議員会の開催について	議決
第2回 令和7年6月19日(木) 保健福祉センターだいせん	理事7名 監事2名	1. 会長及び副会長の選任について 2. 評議員選任・解任委員の選任について 3. 令和7年度大山町社会福祉協議会会長表彰について	議決
第3回 令和7年9月18日(木) 保健福祉センターだいせん	理事7名 監事2名	1. 育児・介護休業等に関する規程一部改正(案)について 2. 旅費支給規程一部改正(案)について 3. 給与規程一部改正(案)について	議決
第4回 令和7年11月26日(水) 保健福祉センターだいせん	理事6名 監事2名	1. 令和7年度第1次補正予算(案)について 2. 令和7年度第2回評議員会の開催について	議決
第5回 令和8年3月5日(木) 保健福祉センターだいせん	理事7名 監事1名	1. 令和7年度第2次補正予算(案)について 2. 令和8年度事業計画(案)について 3. 令和8年度予算(案)について 4. 定款の変更について 5. 大山町子育て世帯訪問支援事業運営規程の制定について 6. 役員等賠償補償について 7. 令和7年度第3回評議員会の開催について	議決

② 評議員会の開催

回数・期日・会場	出席者	議案	結果
定時評議員会 令和7年6月19日(木) 保健福祉センターだいせん	評議員9名 役員2名 監事2名	1. 令和6年度事業報告及び決算(案)について 2. 新理事及び監事の選任について	議決
第2回 令和7年12月11日(木) 保健福祉センターだいせん	評議員10名 役員2名 監事2名	1. 令和7年度第1次補正予算(案)について	議決
第3回 令和8年3月16日(月) 保健福祉センターだいせん	評議員12名 役員2名 監事2名	1. 令和7年度第2次補正予算(案)について 2. 令和8年度事業計画(案)について 3. 令和8年度予算(案)について 4. 定款の変更について 5. 大山町子育て世帯訪問支援事業運営規程の制定について 6. 役員等賠償補償について	議決

③理事協議会の開催

回数・期日・会場	出席者	議案
第1回 令和8年1月30日(金) 保健福祉センターだいせん	理事6名	令和8年度からの新規事業について

④監査会の開催

期日・会場	出席者	議案
決算監査 令和7年5月19日(月) 保健福祉センターだいせん	理事1名 監事2名	令和6年度事業及び決算報告

⑤評議員選任解任委員会

期日・会場	出席者	議案
令和7年6月9日(月) 保健福祉センターだいせん	理事1名 委員5名	評議員の選任について

⑥役員研修等の参加・実施

【地域福祉県民講座「第47回緑陰大学」】

期日・会場	令和7年7月4日(金)エースバック未来中心
出席の状況	役職員 計5名
内容	・基調講演 「アートが創る地域共生社会」 講師 社会福祉法人愛成会理事長 小林瑞恵 氏 ・パネルディスカッション

【県民総合福祉大会】

期日・会場	令和7年9月11日(木)とりぎん文化会館
出席の状況	役職員・評議員 計10名
内容	・表彰式(県知事、県社協会会長ほか) ・活動発表「地域食堂 みんなできんさいな」鳥取県更生保護給産会 ・アトラクション「マンドリンコンサート」マンドリンアンサンブル済美 ・記念講演「いのちのそばで」野の花診療所院長 徳永 進 氏

【大山町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会】

回数・期日・会場	出席者	議案
第1回 令和7年8月27日(水) 保健福祉センターなわ	委員11名 事務局4名	1. 委員長・副委員長の互選について 2. 大山町地域福祉計画・地域福祉活動計画の見直し案について

回数・期日・会場	出席者	議案
第2回 令和7年11月28日(月) 保健福祉センターなわ	委員9名 事務局6名	1. 大山町地域福祉計画・地域福祉活動計画の見直し案について
第3回 令和8年3月9日(月) 保健福祉センターなわ	委員11名 事務局7名	1. 大山町地域福祉計画・地域福祉活動計画の見直し案について 2. 大山町地域福祉計画の進捗状況の確認 3. 大山町地域福祉活動計画の進捗状況の確認 4. 重層的支援体制整備事業評価について

⑦大山町共同募金委員会

【運営委員会】

会議名・期日・会場	出席者	議案	結果
第1回 令和7年4月24日(木) 保健福祉センターだいせん	委員4名 監事2名	1. 運営委員の選任について 2. 監事の選任について 3. 審査委員の選任について 4. 令和6年度事業報告について 5. 令和6年度決算について	決議
第2回 令和7年7月24日(木) 保健福祉センターだいせん	委員5名 監事1名	1. 会長及び副会長の選任について 2. 監事の選任について	決議
第3回 令和7年9月18日(木) 保健福祉センターだいせん	委員5名 監事2名	1. 令和7年度募金運動について 2. 令和7年度歳末たすけあい募金配分金事業について 3. 令和8年度共同募金配分金活用助成事業について	決議
第4回 令和8年3月5日(木) 保健福祉センターだいせん	委員5名 監事1名	1. 令和7年度補正予算(案)について 2. 令和8年度事業計画・予算(案)について	決議

【審査委員会】

会議名・期日・会場	出席者	議案
第1回 令和8年2月26日(木) 保健福祉センターだいせん	委員5名	1. 令和8年度共同募金配分金活用助成事業申請先の選考について

【監査会】

会議名・期日・会場	出席者	議案
第1回 令和7年4月24日(木) 保健福祉センターだいせん	会長 監事2名	令和6年度事業及び決算報告

(2) 法人の運営管理

【福祉総務部会】

回数	期日	内容
第1回	令和7年4月22日(火)	・福祉教育推進事業について ・リテラスについて ・令和7年度赤い羽根タクシー券配布事業について 等
第2回	令和7年5月27日(火)	・社協普通会費について ・令和7年度個別訪問について ・サロン世話人研修会について 等
第3回	令和7年6月24日(火)	・地域福祉座談会について ・ボランティアフェスティバルについて ・レクリエーション物品貸出について 等
第4回	令和7年7月28日(月)	・大山町福祉大会について ・研修の広報について ・災害義援金の対応について 等
第5回	令和7年8月26日(火)	・災害ボランティアセンター設置訓練について ・共同募金配分金事業について ・重層的支援体制整備事業について 等
第6回	令和7年9月24日(水)	・各担当の事業実施状況について ・フードドライブについて ・赤い羽根共同募金 募金箱設置協力依頼について 等
第7回	令和7年10月29日(水)	・広報誌について ・募金の取り扱いについて ・来年度の事業検討 等
第8回	令和7年11月25日(火)	・災害ボランティアセンター設置運営訓練について ・福祉推進員の任期更新について ・来年度の事業検討 等
第9回	令和7年12月23日(火)	・地域福祉推進研修会について ・チャレンジスクールについて ・リユース事業、フードドライブについて ・来年度の事業検討 等
第10回	令和8年1月20日(火)	・災害ボランティアセンター職員派遣について報告 ・地域福祉推進研修会について ・来年度の事業検討 等
第11回	令和8年2月24日(火)	・子どもの学習・生活支援について ・名和公民館まつりの出店について ・ボランティアポイントについて 等
第12回	令和8年3月25日(水)	・地域福祉推進研修会、名和公民館まつりの出店後の考察 ・集落レストランについて ・センターなわ開館時間変更に係る対応について 等

【介護部会】

回数	期日	内容
第1回	令和7年4月22日(火)	・状況報告書について ・外出レクプランについて 等
第2回	令和7年5月14日(水)	・運営基準に則した計画書作成について ・介護課事業所の経営改善について ・事業所自己点検について 等
第3回	令和7年5月28日(水)	・状況報告書について ・適切なケアマネジメント手法について 等
第4回	令和7年6月13日(金)	・ケアプラン連携システムについて ・職員ミーティングについて 等
第5回	令和7年7月1日(火)	・事業所自己点検報告について ・ケアプラン連携システム導入依頼について 等
第6回	令和7年7月14日(月)	・苦情について ・通所利用者増に向けた新サービスについて 等
第7回	令和7年7月28日(月)	・ひやりはっと及び事故報告書の共有について ・通所お試し利用料金について 等
第8回	令和7年8月13日(水)	・保険外訪問サービスについて ・デイお試し利用について 等
第9回	令和7年8月27日(水)	・保険外訪問サービスについて ・緊急時の対応について ・感染対策について 等
臨時	令和7年9月4日(木)	・業務マニュアルについて ・通所体験利用同意書、パンフレットについて 等
第10回	令和7年9月16日(火)	・通所体験利用同意書について
第11回	令和7年9月29日(月)	・大山町訪問介護サービス事業所支援補助金について ・居宅からの相談事項について 等
第12回	令和7年10月14日(火)	・「ちょっこし運動教室」について ・保険外訪問サービスについて ・にやりほっと事例 等
第13回	令和7年10月28日(火)	・保険外訪問サービスについて ・労働災害発生時の対応について 等
第14回	令和7年11月12日(水)	・デイサービス昼食費改定について ・ジョブメドレーアカデミー研修について 等
第15回	令和7年11月28日(金)	・算定可能な加算の把握について ・介護ソフトについて 等
第16回	令和7年12月12日(金)	・「ちょっこし運動教室」について ・子育て世帯訪問支援事業について 等
第17回	令和8年1月13日(火)	・保険外訪問サービスについて 等
第18回	令和8年1月27日(火)	・経営改善報告 等
第19回	令和8年2月13日(金)	・介護ソフトについて ・事例検討 等
第20回	令和8年2月27日(金)	・困難ケース対応協議 ・課題業務の分析、対策協議 等

回数	期日	内容
第21回	令和8年3月13日(金)	・困難ケース対応協議 ・課題業務の分析、対策協議 ・利用契約解除について 等
第22回	令和8年3月27日(金)	・困難ケース対応協議 等

【運営会議】

回数	期日	内容
第1回	令和7年5月20日(火)	・令和6年度決算監査会報告について ・令和7年度第1回理事会について ・財務分析について

(3) 社協会費納入状況

種 別	件 数		金 額(円)	
	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度
普通会費	3,915	3,886	3,915,500	3,841,400
賛助会費	40	47	94,000	104,000
特別会費	41	50	260,000	375,000
合 計	3,996	3,983	4,269,500	4,320,400
考察・評価	普通会費は大山町の世帯数に対して、加入率が79%と年々減少している。賛助・特別会費は職員の訪問による勧誘活動を行い、多くの企業様に加入して頂き、収入が増加した。			

(4) 香典返し等寄付金状況

種 別	件 数		金 額(円)	
	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度
香典返し	149	145	2,839,000	2,907,000
見舞い返し	1	0	10,000	0
一般寄附	2	3	296,579	32,000
その他(物品)	3	1	53,660	0
合 計	155	149	3,199,239	2,939,000
考察・評価	昨年度と比べ、件数、金額ともに減少している。また、物品では子ども用車椅子1台の寄付があった。			

(5) 広報・啓発活動の充実

【広報誌「ほほえみ」の発行】

号数	発行月	主な内容
100号	令和7年 4月	・広報誌ほほえみ創刊100号報告 ・令和7年度大山町社会福祉協議会事業計画 ・令和7年度職員体制図/新職員紹介 ・社協会費ご協力のご案内 ・ささエール通信(ボランティアセンターの紹介) ・令和6年度地域福祉推進員研修会の報告 ・団体紹介(大山町手をつなぐ育成会) ・リテラス事業紹介
101号	令和7年 7月	・男の料理塾について ・新会長よりごあいさつ ・新体制のお知らせ ・町内の小学校新一年生へ防犯ブザー贈呈 ・令和6年度事業報告/決算報告 ・集いの場の紹介(ふれあいいきいきサロン/おでかけサロン) ・つなGOカー貸出事業、集落レストランの紹介 ・地域で学防災参加者募集 ・令和7年度共同募金配分金活用助成事業決定 ・ささエール通信 (託児ボランティア研修会の案内/ボランティア紹介:大山町青年団) ・涼みどころ紹介(センター大山/中山)
102号	令和7年 10月	・令和7年度大山町福祉大会(福祉功労者表彰並びに地域福祉推進研修会) ・地域福祉座談会 ・会費納入について ・赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金 ・大山町文化祭イベント募金について ・パーソナルサポートセンター紹介(自立相談支援事業/就労準備支援事業) ・男の料理塾、家族介護者交流事業開催案内 ・ささエール通信(ボランティアフェスティバル案内/ボランティア紹介) ・センターだより
103号	令和8年 1月	・災害ボランティアセンター設置運営訓練 ・令和8年会長挨拶 ・公式LINE紹介 ・リユース事業 ・大山町共同募金委員会よりお知らせ ・令和8年共同募金配分金活用助成事業受付開始について ・ささエール通信(ボランティアフェスティバル報告/ボランティア募集) ・ふれあいいきいきサロン(世話人さんに密着取材) ・家族介護者交流事業報告 ・男の料理塾開催案内 ・事業所紹介(通所介護だいせん/地域密着型通所介護ほほえみ) ・新職員紹介

【ホームページ、SNS (Facebook) 等の運営】

Facebook (フェイスブック)	各事業所(通所だいせん、地域密着ほほえみ、福祉総務課)ごとに各週で記事を投稿している。事業所ごとの行事または研修等の案内、各種事業等の告知や説明を行っており、地域住民や他の団体に向け情報発信を行っている。
Instagram (インスタグラム)	各事業所(通所だいせん、地域密着ほほえみ、福祉総務課)ごとに定期的に更新を行っている。社内の雰囲気をもっと住民に理解してもらえると共に社協をより身近に感じて頂けるような内容での投稿を行っている。フォロワーも855人と増えてきている。
ホームページ	ホームページでは、各種事業の説明や各種事業申込用紙、社協、デイサービスの広報誌などを掲載し最新の情報をお届けできるよう更新を行っている。

(6) 生計困難者に対する相談支援事業(えんくるり事業)

支援人数	2名(令和6年度 5名)	延べ支援回数	4回(令和6年度 6回)
支援内容	公営住宅入居までのホテル宿泊費/家賃及び水道光熱費		
考察・評価	支援対象者は20代及び40代と比較的若い年齢層であり、特性もあることで仕事や住まいなど様々な課題を抱えていた。関係機関と連携をとりながら複数回の現物支給をおこない、いずれも生活保護費の受給につながることができた。		

(7) 事業継続計画(BCP)に基づく机上訓練

事業所	開催日	内容	参加人数
居宅介護支援だいせん	11月6日(木)	災害編	4名
	12月4日(木)	感染症編	4名
訪問介護だいせん	3月11日(水)	感染症編	5名
	3月16日(月)	災害編	5名
地域密着型通所介護ほほえみ	3月4日(水)	災害編	6名
	3月12日(木)	感染症編	7名
通所介護だいせん	3月11日(水)	災害編	6名
	3月12日(木)	感染症編	9名
サポートセンターだいせん	2月26日(木)	災害・感染症編	2名

(8) 法人後見事業

	中山地区		名和地区		大山地区		合計	
	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度
利用件数	0	0	0	1	0	0	0	1
相談件数	0	0	0	1	0	0	0	1
終了件数	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者の内訳	高齢障がい者 1名			相談件数内訳	高齢障がい者 1名			
終了件数内訳	なし							
考察・評価	令和7年度より権利擁護ネットワークほうき「うえるかむ」に団体社員として入社し、法人後見業務を開始した。8月に保佐類型1件受任。本人の意思決定を尊重しながら、各種手続きの補助や日常的金銭管理等の支援を行っている。							

2. 生活支援体制整備事業

(1) 生活支援コーディネーター活動状況

	期日	協議内容	参加数
1	5月30日	【第1回大山町わいわい福祉ミーティング】 テーマ「事例から学ぶ、地域で自分が出来ること」 ・事例紹介 ・グループワーク(事例を通して感じたこと、地域で自分が出来ること) ・各機関からのお知らせ	34名
2	7月18日	【第2回大山町わいわい福祉ミーティング】 テーマ「まちづくり課・地域自主組織の事例から学ぶ、地域で自分が出来ること」 ・事例報告(デマンドバスについて・高齢者向けの集落訪問事業について) ・グループワーク ・各機関からのお知らせ	32名
3	9月26日	【第3回大山町わいわい福祉ミーティング】 テーマ「重層的支援整備事業、こども家庭センターの役割と各機関との連携」 ・事例紹介 ・グループワーク ・各機関からのお知らせ	32名
4	10月21日	令和7年度第1回大山町地域ケア推進会議・生活支援体制整備事業推進協議体会議 テーマ「身寄りのない高齢者の身元保証について」	18名
5	11月13日	鳥取大学医学部 2025年地域医療学講座 テーマ「社会的処方への取り組みの現状と地域住民への効果」 ・大山町社協事業紹介 ・生活支援体制整備事業(集いの場等) ・地域資源マップ検討会	9名
6	12月12日	【第4回大山町わいわい福祉ミーティング】 テーマ「災害と地域コミュニティ」 ・グループワーク「災害に強い地域にするためにできること、課題」 ・各機関からのお知らせ ・地域資源マップ検討会	33名
7	2月13日	【第5回大山町わいわい福祉ミーティング】 テーマ「令和7年度各機関活動のまとめと来年度の活動について」 ・各機関からの活動報告 ・グループワーク「今年度のまとめを踏まえて、来年度各機関が重点的にしたいこと」 ・各機関からのお知らせ ・地域資源マップ検討会	35名
8	2月19日	令和7年度第2回大山町地域ケア推進会議・生活支援体制整備事業推進協議体会議 テーマ「介護予防事業の現状と課題」	15名

(2) 有償ボランティア「ささえあいたい」利用等状況

	中山地区		名和地区		大山地区		合計	
	令和 6年度	令和 7年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 6年度	令和 7年度
延べ利用件数(件)	1	0	1	1	2	3	4	4
実利用件数(件)	1	0	1	1	2	2	4	3
援助会員数(名)	5	6	6	8	8	10	19	24
考察・評価	以前より依頼のある方のゴミ出しや買い物の支援を行った。 役場、ケアマネージャー、家族からの木の伐採やゴミ出しに関する相談はあったが、高所での作業や本人が希望されなかったため利用までに至らなかった。 除雪ボランティアに関する問合せが2件あったが、どちらも地域の方へ繋ぎ利用には至らなかった。							

(3) 地域活動車「つな Go(ごう)カー」貸出事業

	利用団体	利用日	利用者数	利用目的
1	下前谷	4月3日	6名	名和神社・御厨(おでかけサロンとして)
2	下田中	5月28日	10名	バラ園視察
3	栄田	6月9日	7名	大山方面へドライブ
4	ふれあいの郷かあら山	11月10日	10名	大山方面へ紅葉ドライブ
5	平田	11月12日	7名	船上山方面へ紅葉ドライブ
6	下前谷	11月14日	10名	大山周辺の観光
7	栄田	11月20日	7名	大山周辺の観光
考察・評価	今年度は全7件(3集落・1団体)へ貸出しを行った。集落における集いの場の一部として活用されており、大山への観光やバラ園の視察など、外出機会の創出につながっている。			

3. さわやか福祉基金事業

(1) 地域福祉に関する調査活動

① 支え愛マップ作りの促進

	令和7年度
問い合わせ集落	8集落
取り組み集落	0集落
考察・評価	5月頃、区長宛てに補助金事業の案内文書を送付したところ8集落から問い合わせがあったが、いずれの集落も事業の利用には至らなかった。年度末、集落内で支え愛マップの更新に取り組まれるとのことで拡大地図の準備を依頼されたため対応。併せて補助金事業の説明も行った。

②要援護者の訪問調査および要支援者台帳の整備

訪問件数	令和6年度	令和7年度
	119件	71件
考察・評価	・防災グッズ配布世帯の生活状況確認および非常食交換:43件 ・見守りが必要な高齢者世帯への定期訪問:28件 対象者宅訪問時に、地域の様子や生活上の課題等を聞き取りしている。必要に応じて行政関係機関と連携しながら、社会資源の情報提供および個別課題の解決に向けた支援をおこなっている。	

(2) ボランティア活動の推進

①ボランティアに関する相談・登録・斡旋状況

	令和6年度	令和7年度
ボランティア登録者数	68名	69名
依頼件数	20件	27件
斡旋件数	78件	201件
延べ派遣人数	152名	340名

②ボランティア派遣状況

事業名	依頼者	活動場所	内容	活動日数	人数
離乳食講習会	こども課	保健福祉センターなわ	託児	6日	36名
幼児食講習会	こども課	保健福祉センターなわ	託児	2日	13名
ハッピー子育てプログラム	こども課	保健福祉センターなわ	託児	4日	19名
子育てサークル行事	子育て支援センターなわ	光徳こども学園	調理補助 託児	2日	4名
おせっかい人講座	一般社団法人 コミュニティウ ェルビーイング 研究所	保健福祉センター だいせん	託児	1日	2名
ファミサポ交流会	大山町ファミリ ーサポートセン ター	大山町ふれあい会館	託児	5日	18名
成人健康診査	健康推進課	保健福祉センターなわ	託児	5日	6名
全日本トライアスロン 皆生大会	商工観光課	町内自転車コース	イベント	1日	6名
運動教室	健康推進課	大山町ふれあい会館 保健福祉センターなわ	託児	2日	5名
大山町地域福祉計画 推進委員会の託児	総合福祉課	保健福祉センターなわ	託児	3日	3名

事業名	依頼者	活動場所	内容	活動日数	人数
ベビーマッサージと性教育のお話会&ランチ会	地域自主組織 なわのわ	なわほ (旧名和保育所)	託児	1日	3名
大山町総合計画 審議会の託児	総合戦略課	名和公民館	託児	3日	6名
マラソン大会	大山西小学校	大山西小学校	見守り	1日	9名
大山町社会教育拠点 施設基本計画策定委員会	まちづくり課	名和公民館	託児	3日	4名
大山はまなす サイクリング	中山まちづくり 実行委員会	中山公民館	調理	1日	6名
マラソン大会	名和小学校	名和小学校	見守り	1日	5名
ペアレントプログラム 子育てはっとり道場	こども課	保健福祉センターなわ	託児	5日	11名
福祉教育	大山町社会 福祉協議会	各小学校	見守り	5日	8名
男の料理塾	大山町社会 福祉協議会	保健福祉センター だいせん	調理	5日	19名
花回廊外出	通所介護 だいせん	とっとり花回廊	見守り 付き添い	6日	8名
おでかけサロン 運転ボランティア	大山町社会 福祉協議会	町内施設	運転	3日	3名
朗読ボランティア (傾聴)	地域密着型 通所介護 ほほえみ	地域密着型通所介護 ほほえみ	朗読、 傾聴	41日	43名
傾聴ボランティア	通所介護 だいせん	通所介護だいせん	傾聴	48日	52名
傾聴ボランティア	ル・ソラリオン 名和	ル・ソラリオン名和	傾聴	22日	24名
傾聴ボランティア	小規模多機能 ホーム ばんだの里	小規模多機能ホーム ばんだの里	傾聴	12日	14名
音楽レク	小規模多機能 ホーム ばんだの里	小規模多機能ホーム ばんだの里	音楽	1日	1名
衣類補修ボランティア	ル・ソラリオン 名和	ル・ソラリオン名和	裁縫	12日	12名

③ボランティアセンターの充実強化

【ボランティア連絡協議会の開催】

期日	内容
令和7年4月18日(金)	・今年度のボランティア連絡協議会の活動について ・ボランティア連絡協議会委員委嘱について
令和7年6月4日(水)	・令和7年度ボランティアフェスティバルについて ・日吉津村ボランティア連絡協議会との交流について
令和7年7月14日(月)	・令和7年度ボランティアフェスティバルについて ・日吉津村ボランティア連絡協議会との交流について
令和7年9月4日(木)	・令和7年度ボランティアフェスティバルの内容について ・日吉津村ボランティア連絡協議会との交流について ・今年度の会議回数変更について(4回→6回)
令和7年11月19日(水)	・令和7年度ボランティアフェスティバルの内容について ・日吉津村ボランティア連絡協議会との交流について
令和7年12月9日(火)	・日吉津村ボランティアの集い ～大山町ボランティア連絡協議会との交流会～
令和8年2月4日(水)	・各団体の活動報告について ・日吉津村ボランティアとの交流会について(報告) ・令和8年度ボランティアフェスティバルの内容について

【ボランティアポイント(ささエールポイント)】

該当者	ボランティア登録者 51名
送付額	合計66,000円の大山町商品券を配布

【ボランティアフェスティバル】

期日・会場	令和7年10月25日(土)～26日(日) 中山農業者トレーニングセンター
考察・評価	ボランティア団体の周知や勧誘を目的として、大山町文化祭の中で開催した。各団体の活動紹介の掲示や各団体による体験コーナーを設置して来場者へボランティア団体やボランティアセンターについて周知した。各団体に質問や加入の申し込みがあり、幅広い年齢層の方に体験をしていただいた。次年度開催について、令和8年度のボランティア連絡協議会の中で協議していく。

④ボランティア活動啓発・育成事業

【地域で学防災(まなぼうさい)】

期日・会場	令和7年8月2日(土) 10:00～11:30 保健福祉センターだいせん
参加者数	31名
考察・評価	日野ボランティアネットワークの山下弘彦氏を講師に迎え「災害時、地域での助け合いとボランティア活動にも強い地域づくりの重要性」と題した講演会を開催した。講師からは、「今、求められているのは“防災”ではなく“減災”である」とのご提言があり、すべての災害を防ぐことは困難であるからこそ、被害を最小限に抑えるための備えや工夫を出来るうちに行っておくことの重要性が語られた。今回は、広報活動の充実や、国内での相次ぐ災害に関する報道もあり、多くの方にご参加いただき、災害への関心の高まりを感じる講演会となった。

【託児ボランティア研修会】

期日・会場	令和7年9月2日(火) 10:00~11:30 保健福祉センターなわ
参加者数	9名
考察・評価	鳥取県家庭教育アドバイザーの加納千恵美氏を講師に迎え「安心して預けられる場所へ～託児ボランティアの心得」と題し研修会を実施した。 講師からは、託児中のケガや事故を防ぐために気を付ける4つのこと「小さいものは置かない」「角の確認」「段差の確認」「おもちゃの保管場所」についてのお話や、「大丈夫」というのではなく「さみしいね」とお子さんの気持ちに寄り添うことが大切であるという話をされた。また、参加者の方に簡単なおもちゃの作り方を教えておられ、参加者からは「託児中だけでなくお孫さんの面倒を見る時にも役立つ」「いきなり抱っこしないなど勉強になることがたくさんあった」との感想をいただいた。 新規で2名の参加あり、ボランティア登録をされた。ボランティア派遣依頼が高い状況にあり、今後も住民が参加しやすい企画の提案が求められる。

(3) 災害ボランティアセンター関連

【第1回災害ボランティアセンター運営委員会】

期日・会場	令和7年8月5日(火) 保健福祉センターだいせん
内容	・委員長、副委員長の選出 ・災害ボランティアセンター運営委員会の経過について ・今後の予定について

【災害ボランティアセンター運営設置訓練】

期日・会場	令和7年11月29日(土) 福祉センターなかやま 9:00~12:00(社協職員) 9:30~11:30(外部関係者)
参加者数	49名 (社協職員 34名 外部関係者 15名)
考察・評価	一昨年度は大山支所、昨年度は名和支所を会場として訓練を実施してきたが、今回はこれまで実績のない中山支所を会場とし、限られた環境下において災害ボランティアセンターを円滑に運営するための配置や動線について検討することを主な目的として訓練を行った。 今回は講義形式を設けず、事前に動画視聴やマニュアルの確認、各班での配置方法の検討を行ったうえで、当日はロールプレイ形式で訓練を実施した。訓練を通して、会場特性に応じた設置方法の検討を行うとともに、運営上の課題や改善点を整理することができた。その一方で、設定カードの理解不足や、事前学習動画と本会マニュアルとの相違などの課題も見られたため、設定カードの内容やマニュアルの構成については、今後見直しを行う必要がある。

(4) 福祉教育の推進

【福祉教育推進校助成】

助成先	町内小学校4校、中学校3校 計7校
助成額	合計350,000円を助成

【福祉教育推進校連絡会】

期日・会場	令和7年11月19日(水) 保健福祉センターなわ
内容	・令和6年度福祉教育推進事業報告及び令和7年度福祉教育推進事業計画の報告 ・福祉教育推進事業補助金廃止について ・各学校での共同募金運動の取り組みについて
参加者数	4名(町内小中学校福祉教育担当教職員)

【チャレンジスクール】

期日・会場	令和8年3月8日(日) 保健福祉センターなわ
体験者	15名(小学生8名、中学生4名、大人3名)
考察・評価	今年度は名和公民館まつりの中で、高齢者疑似セットを使用した福祉体験をチャレンジスクールとして実施した。福祉教育の体験学習での限定した学年を対象とした形でなく、年代問わず小学生から大人まで体験して頂けたことがよかった。目の見えづらさや関節の曲げ伸ばしづらさなど、加齢とともに生じる身体的変化が、生活にどのような影響を与えるかということを考えるきっかけになったのではと感じる。

【福祉体験学習】

期日	内容	会場	参加者数
令和7年11月11日(火)	高齢者疑似体験	大山西小学校	44名
令和7年11月14日(金)	高齢者疑似体験	中山小学校	36名
令和7年11月21日(金)	高齢者疑似体験	名和小学校	45名
令和7年12月2日(火)	車椅子体験	中山小学校	32名
令和8年2月17日(火)	高齢者疑似体験・車椅子体験	大山小学校	15名
考察・評価	今年度も町内4つの小学校での福祉体験学習を実施。高齢者疑似体験ではグループの一人に疑似体験グッズを装着しコース内を歩き、他の生徒は案内を行う中で気づきを得る学習。車椅子体験は、段差やスロープなどを含めたコースを設定し全生徒に【乗る側・介助する側】を体験する内容で実施。体験を通して生活の不自由さを学ぶとともにどのようにしたら解決できるのかを考える時間となった。		

(5) リユース事業「リテラス」

	寄付数	譲渡数	寄付受付場所	譲渡受付場所
学生用品	22着(累計49着)	3着(累計3着)	社協3支所	社協本所
ベビー用品	22品(累計23品)	17品(累計17品)		
考察・評価	学生用品について、年度末にかけて寄付数が増加。譲渡については試着をされるもサイズが合わず譲渡に至らないケースが2件あった。寄付数は多い一方譲受希望者が少ないため引き続き広報に努める。 ベビー用品について、寄付数・譲渡数ともに順調に推移している。SNS 等の広報と併せて、子育て支援センター主催のフリーマーケットへの出品が認知度の拡大に繋がったと考える。令和8年3月の名和公民館まつりにも出品した。引き続き関係機関等との連携を通して事業の認知度拡大に努める。			

4. 重層的支援体制整備事業(生活困窮者等のための地域づくり事業)

(1) 地域住民のニーズ・生活課題の把握

【地域福祉座談会の開催】

内容	・社会福祉協議会の事業紹介 ・地域課題の把握と解決に向けての意見交換		
開催集落数	10集落(令和6年度 9集落)		
参加人数計	79名(令和6年度 63名)		
考察・評価	令和7年度より座談会プログラムを変更。集落の課題について、参加者同士が意見交換する時間を新たに設けた。「20年後の集落はどうなっているか」「どんなサービスが必要になるか」等を話し合いながら、集落の将来について考える良い機会となった。下半期は新たな試みとして、近隣集落による合同座談会を実施。その後のふれあいいきいきサロン開催につながることができた。		
【開催集落】			
集落名	日程	会場	参加人数
小竹	令和7年6月13日(金)	小竹集会所	6名
羽田井	令和7年7月18日(金)	羽田井集会所	11名
宮内	令和7年9月28日(日)	宮内交流体験施設	17名
飯戸	令和7年10月1日(水)	飯戸多目的集会所	19名
香取(4集落合同)	令和7年11月4日(火)	香雲荘	7名
赤坂	令和7年11月21日(金)	赤坂集会所	10名
上中高	令和8年3月6日(金)	上中高集会所	9名

(2) 地域住民の活動支援・情報発信等

【第1回地域福祉推進研修会】

期日・会場	令和7年8月23日(土) なかやま温泉生活想像館わくわくホール		
内容	・福祉功労者表彰式 ・講演会「むすぶ手・つなぐ手～「つながり」から生まれる「支え・合い」のまちづくり～ 講師 酒井 保 氏(ご近所福祉クリエイター)		
被表彰者	11名 1団体		
考察・評価	福祉功労者表彰式(大山町社会福祉協議会会長表彰)と併せて開催した。当日は、各集落福祉推進員や民生委員など、総勢67名の参加者となり、表彰式終了後には、「地域住民のつながりの必要性」をテーマとした講演会を行う。講師からは、地域における支え合いの関係は「受け入れあう関係性」から生まれるものであり、その関係性を築く第一歩として、「ふれあいいきいきサロン」のような住民同士の交流の場が重要であるとお話いただいた。 今後も、地域住民同士が顔の見える関係を築き、安心して暮らせる地域づくりを進めていくことが重要な課題となる。		

【第2回地域福祉推進研修会】

期日・会場	令和8年2月21日(土) 保健福祉センターなわ
内容	・大山町社会福祉協議会事務局説明 (社協事業説明、福祉推進員・サロン活動について) ・事例発表 演題「がんばりすぎず ゆるく楽しく集うには」 講師 中山 早織 氏(東谷集落福祉推進員等)
考察・評価	当日は、福祉推進員及び民生委員・児童委員等、計85名の参加があった。福祉推進員は本来2年任期で各集落から選出いただいているが、集落によっては1年任期としているところも多く、今年度は半数近くが新任の方となった。そのため、前半では社協職員より社協事業の説明をはじめ、福祉推進員の役割やサロン活動についての説明を行った。 後半では、東谷集落の福祉推進員として、また町内団体の一員として地域活動に取り組んでおられる中山早織氏に事例報告を依頼した。福祉推進員がすべてを抱え込み地域づくりを進めるのではなく、地域自主組織や多様な地域資源を活用しながら、無理のない形で継続していくことの大切さについてお話いただいた。 参加者からは「役割がよく分かった」、「活動の参考になった」など概ね良好な意見が寄せられた。一方で、参加集落は町内165集落中58集落にとどまっており、今後はより多くの集落に参加していただけるよう、周知方法や開催方法の工夫が課題として挙げられる。

(3) 地域コミュニティを形成する居場所づくり

【男の料理塾】

	期日・会場	参加者	考察・評価
1	令和7年5月30日 保健福祉センター だいせん	16名	ひまわりグループの3名にご指導いただき「親子丼・焼きなすの中華南蛮漬け・すまし汁」を調理。この度は、前年度参加して頂いた方へ郵送・電話にて開催周知し参加者を募った。会食中には、参加者の方に落語を披露して頂いた。次回は自分もマジックを披露したいとの参加者もあり、調理のみならず会食中のイベントも恒例になりつつあると感じた。
2	令和7年7月29日 保健福祉センター だいせん	16名	大山町婦人会の4名にご指導いただき「冷やし坦々そうめん・夏野菜とたこのマリネ・ヨーグルトムース」を調理。ほとんどの方が前回の時に次回予約をしてくださっていた。また、常連参加者のご友人2名が新規参加となった。会食中に参加者の方のマジック披露があった。「マジックの解説は、次回の男の料理塾の時に…」との事で、参加する楽しみへと繋がった。
3	令和7年9月26日 保健福祉センター だいせん	15名	ひまわりグループの3名に調理のご指導を頂き「まいたけと油揚げの炊き込みご飯・月見ハンバーグ・お月見団子」を調理。次回予約により13名の申込があり、他の参加者の方はTELにて予約があった。今回も、参加者の方がマジック・落語を披露して下さり大変賑やかな会食となった。
4	令和7年11月26日 保健福祉センター だいせん	18名	大山町婦人会の5名に調理のご指導を頂き「いただき、小松菜とちくわのゴママヨ和え、すまし汁」を調理。数年前にも作成した事のある料理だが「また、いただきが作りたい」との声が多く献立に設定。味付けも丁度良く「美味しい、食べやすい」との声が大半であった。

	期日・会場	参加者	考察・評価
5	令和8年1月27日 保健福祉センター だいせん	17名	ひまわりグループの3名に調理のご指導を頂き「味噌煮込みうどん、ほうれん草の卵炒め、みかん牛乳寒天」を調理。開催時期が冬な事もあり身体が温まる味噌煮込みうどんを作成。量も丁度良く好評であった。次回予約をして帰られる参加者も多く定着しつつある。
6	令和8年3月13日 保健福祉センター だいせん	18名	大山町婦人会の4名に調理のご指導を頂き「菜の花としらすのだし混ぜご飯、春キャベツと鮭の蒸し焼き、桜もち、すまし汁」を調理。菜の花や春キャベツと季節の食材を利用した献立を設定。今回は、参加者へアンケートを行い、調理してみたい料理や参加しやすい曜日の聞き取りを行った。

【集落レストラン】

開催日	地区	参加者	考察・評価
令和7年4月15日	坊領	52名	定期開催していた1集落が開催を終了されたため、令和6年度より開催回数は減少している。 引き続き新規の集落へ利用して頂くため広報を行っていく。
令和7年6月10日	坊領	52名	
令和7年6月28日	国信	42名	
令和7年8月5日	坊領	67名	
令和7年10月14日	坊領	55名	
令和7年11月29日	羽田井	34名	
令和7年12月1日	国信	32名	
令和7年12月9日	坊領	48名	
令和8年3月17日	坊領	55名	

5. 日常生活自立支援事業

	中山地区		名和地区		大山地区		合計	
	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度
利用件数	0	0	3	3	1	0	4	3
相談件数	1	3	2	8	1	1	4	12
終了件数	0	0	0	0	1	0	1	0
支援員(人)	0	0	3	3	2	2	5	5
利用延回数	0	0	18	44	1	0	19	44
利用者の内訳	高齢者3件							
相談件数内訳	高齢者7件、精神障がい者3件、知的障がい者2件							
終了件数内訳	0件							
考察・評価	相談件数について、いずれも関係機関からの相談。相談を受けた際には本事業の本来の目的との整合性や、利用により本人等の課題解決をはかることができるかという点について慎重に検討している。他制度の利用が適当なケースについては関係機関と連携しながら対応にあたっている。							

6. 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付利用状況

貸付種別		件数		考察・評価
		令和6年度	令和7年度	
新規相談件数		12	11	生活福祉資金貸付を希望される相談は11件。返済能力欠如並びに債務借り換え目的のため9件は貸付要件に該当せず見送りとなったが、教育支援資金について相談された2件のうち1件については、合格が決定し進学に必要な資金を貸付した。もう1件については、不合格となり貸付には至らなかった。貸付にあたり生活福祉資金貸付調査委員会を1回開催した。
新規貸付件数		0	1	
貸付延件数		0	1	
内訳	緊急小口資金	0	0	
	総合支援資金	0	0	
	その他	0	1	

(2) 生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援事業

支援内容	生活状況の確認や面談、償還免除申請の助言、生活再建に向けてサポート 等
支援件数	493件 ※うち相談対応件数 200件
考察・評価	電話による生活状況の確認を継続的に実施している。償還免除申請や償還が困難な状況に関する相談が多く、個々の状況に応じた今後の対応について助言を行った。相談対応件数のうち8件については窓口に来所され、申請手続きの補助や生活相談等を実施し、借受人の実情に合った生活再建支援につなげている。また、借受人に対しては定期的な電話連絡を行っているが、連絡が取れないケースも多く、本町における課題の一つとなっている。その一方で、書面の郵送によるフォローアップを併用することで償還免除申請に繋がったケースや、一括返済や少額返済、償還開始につながるなど一定の成果も見られている。さらに、今年度は連絡が取れない方に対して自宅訪問を行い、直接関わることで状況の把握に努めている。次年度以降もさまざまな方法を取り入れながら、継続して支援と関係づくりに努めていく。

7. 共同募金配分金事業

(1) 共同募金・歳末たすけあい募金活動実績

種別	令和6年度	令和7年度
赤い羽根共同募金	1,339,779	1,324,922
歳末たすけあい募金	1,241,510	1,280,921
合計	2,581,289	2,605,843
考察・評価	令和6年度と比較し、赤い羽根共同募金が(-14,857円)歳末たすけあい募金が(+28,546円)全体として24,554円の増加となった。今年度は、町内企業等への募金箱設置依頼箇所を昨年より13か所増やした。(企業・お店 5か所 郵便局 8か所) イベント募金では、大山町総合文化祭にてお菓子の千本引きコーナーやデイサービスだいせんで採れた花の種を募金して頂いた方へお渡しした。	

(2) 共同募金配分金活用助成事業

	申請団体	申請金額	審査結果
1	内蔵集落サロン	30,000円	○
2	退休寺集落	30,000円	○
3	下甲部落	30,000円	○
4	稲光自治会	30,000円	○
5	下前谷	30,000円	○
6	梶原自治会	24,000円	○
7	種原集落	30,000円	○
8	下市駅前自治会	30,000円	○
9	オレンジカフェ輝楽々	16,900円	○
10	中山中学校	30,000円	○
11	名和中学校	30,000円	○
12	大山町学校	30,000円	○
13	大山西小学校	30,000円	○
14	名和小学校	30,000円	○
合計		400,900円	

(3) 赤い羽根タクシー券配布事業

実施期間	令和7年6月23日(月)～令和8年3月19日(木)
対象世帯	①集落内における満75歳以上(令和8年3月31日現在)の独居高齢者または高齢者世帯(夫婦等)を対象とする。(※高齢者世帯(夫婦等)についてはどちらかが75歳以上なら対象となる) ②運転免許証を保有していない方(配偶者が免許を保有している場合は対象外)、または自動車等を保有しておらず交通手段の確保が困難な世帯。 ③本人がタクシー券を希望される事。
配布世帯	156世帯(令和6年度 157世帯)
考察・評価	今年度より1冊17枚綴り(2枚追加)で実施している。配布世帯は、例年と変わりはない。集落からの対象者選出での配布がほとんどであるが、ご自身で問い合わせをしてこられるケースやケアマネージャーからの問い合わせも今年度は多く見受けられる。使用頻度としては、6、7、11、2、3月が多く使用されている傾向がある。

(4) 防災グッズ配布事業

実施期間	令和8年1月～2月
対象世帯	①集落内における満75歳以上(令和8年3月31日現在)の独居高齢者または高齢者世帯等(夫婦等)が対象。(※高齢者世帯(夫婦)については一方が75歳以上なら対象となる。) ②運転免許を保有していない世帯又は、車や原付等の移動手段をもっていない方 ※防災グッズ配布事業は過去に受けられている方は対象外
配布世帯	21世帯(令和6年度 12世帯)
考察・評価	昨年度と比較し世帯数約10件が増加している。近年頻発する災害により防災意識が高まっている事や、運転免許を返納されこの度対象となった方が増えたのではないかと考える。

8. 生きがい活動支援地域型事業（ふれあい・いきいきサロン活動）

（1）ふれあい・いきいきサロン活動実施状況

	令和6年度				令和7年度			
地 区	大山	名和	中山	合計	大山	名和	中山	合計
実施回数	39	31	31	101	40	28	28	96
開催地区数	20	12	15	47	21	17	19	57
延べ参加者数	922名				859名			
考察・評価	各集落へ聞き取りを行う中で、定例行事は継続されている一方で、交流や見守りを目的としたサロン活動は未実施の集落が多いことがわかる。必要性の周知や働きかけを行ったが、担い手不足等により新規開催に至らない場合も多い。しかし、継続的な支援により今年度は6集落で新規開催、3集落で再開となり、交流の場が拡充した。今後は全ての集落を対象に聞き取りを行い、さらなる充実を図る。							

（2）ふれあい・いきいきサロン世話人研修会の開催

期日・会場	令和7年7月8日(火) 10:00～11:30 保健福祉センターなわ 多目的ホール
内容	・サロン関連の事業紹介(社協、役場健康推進課、暮らしの保健室) ・アイスブレイク「色合わせドミノ」体験 ・情報交換会
参加者数	24名(サロン世話人 23名 町役場職員 1名)
考察・評価	令和6年度にサロンを開催した集落や地域自主組織を対象に案内を送付し、参加者を募った。前半は社協や町の事業説明を行い、後半は配布資料をもとに、サロンの現状や困りごとについて各班で情報交換を行った。班ごとの発表では課題に違いが見られ、地域ごとの状況や工夫が共有された。

9. 家族介護支援事業

（1）家族介護者交流事業

期日・会場	令和7年11月28日(金) 松江 由志園 境港水産物直売センター
内容	松江 由志園での食事会及び庭園鑑賞 境港水産物直売センターの買い物
参加人数	5名
考察・評価	広報誌・SNSで参加募集の広報を行ったが応募された方は1名。昨年参加された方に声掛けを行い5名の参加となった。食事会の際は、互いの介護の様子や情報を交換される様子や「リフレッシュ出来て良かった」との声も聞いた。 参加者からは「良かった」と言って頂けるが、ご自身からの申し込みが少なかった。

10. 外出支援サービス事業

	令和6年度		令和7年度	
	延べ利用者数	実利用者数	延べ利用者数	実利用者数
	823	18	669	20
考察・評価	年度を通し、透析利用の方が減少した事により、延べ利用者数が減少。新規利用者は2名増となった。			

11. 葬儀用祭壇貸出実績

種別	中山支所		名和支所		合計	
	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度
仏式祭壇	15	9	9	6	24	15
神式祭壇	0	0	1	1	1	1
合計	15	9	10	7	25	16
考察・評価	昨年度と比較し貸出件数減少。年々減少傾向にある。葬儀スタイルの多様化や小規模化など時代の変化が理由として考えられる。					

12. 福祉バス運行実績

利用団体	令和6年度		令和7年度	
	利用回数	延べ人数	利用回数	延べ人数
町関係	5	103	5	103
社協関係	2	40	2	45
老人クラブ関係	3	52	13	206
身障協会関係	0	0	0	0
その他団体	0	0	1	16
合 計	10	195	21	370
考察・評価	運行範囲を安来市・松江市まで拡大したことも関係してか、前年度と比べ、単位老人クラブでの利用が増加した。			

13. 福祉センター利用実績

(1) 福祉センターなかやま利用実績

利用団体	令和6年度		令和7年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
大会議室	9	233	15	382
中会議室	7	109	9	110
軽作業室	22	81	50	137
介護者教育室	43	151	6	27
カウンセリング室	0	0	0	0
合 計	81	574	80	656
考察・評価	令和7年度は元気アップ教室利用者がなかったため、介護者教育室の利用は減少。その反面中山中学校による学習支援が開始された事により、軽作業室の利用は増加。今年度は災害ボランティアセンター運営設置訓練等を行ったことにより、大会議室の利用は大幅に増加。総合的に利用者数は増加となった。			

(2) 保健福祉センターだいせん利用実績

利用団体	令和6年度		令和7年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
集会室	47	1,279	67	2,333
大会議室	8	190	14	383
中会議室	5	218	33	539
小会議室	4	98	33	535
相談室	0	0	0	0
2階研修室	12	131	7	91
1階研修室	5	36	26	285
調理実習室	10	104	21	283
機能訓練室	60	904	88	503
きゃらぼく室	40	125	132	660
工 房	13	77	19	129
ロビー			33	113
合 計	204	3,162	473	5,854
考察・評価	福祉団体や企業の研修会・会議や、高校の文化活動、自治会の集会等様々な用途で利用された。新規利用の問い合わせも増加している。ロビーでは小中学生が勉強や卓球をしたり、大人が談話したり地域住民の居場所スペースとなっている。			

生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援事業

1. 自立相談支援事業

(1) 相談の受理及び支援状況

令和7年度の新規相談29件のうち、生活福祉資金貸付を希望される相談は11件。返済能力欠如ならびに債務借り換え目的等のため9件は貸付要件を満たさなかったが、他2件については教育支援資金の貸付希望であり合否発表まで複数回の面談を実施。そのうち合格が決定した1件について、進学に必要な資金の貸付を行った。メールによる相談は3件あり、2件については対面による面談を実施。えんくり事業による現物給付を経て、生活保護申請につなぐことができた。自立支援プランは作成していないが、継続的に対応している相談者は4名。そのうち1名については、家計相談支援事業利用のためプラン作成を予定している。

【月別相談件数及び支援プラン数一覧】

月	相談件数	新規プラン 更新プラン	月	相談件数	新規プラン 更新プラン	月	相談件数	新規プラン 更新プラン	月	相談件数	新規プラン 更新プラン
4月	1	0 0	7月	7	0 0	10月	2	0 0	1月	1	0 0
5月	0	0 0	8月	1	0 0	11月	4	0 0	2月	0	0 0
6月	3	0 0	9月	4	0 0	12月	3	0 0	3月	3	0 0

【相談件数】

相談件数累計	29
プラン累計	0
新規プラン累計	0
更新プラン累計	0

【相談経路】

本人	10 人
関係機関	17 人
知人・家族	2 人
アウトリーチ	0 人

【支援内訳】

住居確保給付金	0 人
えんくり事業	4 回
フードパートナー事業	11 回
生活福祉資金貸付	1 人
生活保護	6 人

【相談者の属性】

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明
	0人	2人	1人	9人	4人	4人	4人	2人	3人
性別	男性	女性							
	21	8							

【相談内訳】

相談内容	月別件数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
病気や健康・障害のこと			1	7		3	1	1				1	14	
住まいについて								1	1				2	
収入・生活費のこと	1		2	3		3	1	3	1	1		3	18	
家賃やローンの支払いについて	1		1	3				1		1		1	8	
税金や公共料金等の支払いについて	1		1	2		2	1			1		1	9	
債務について				1		1	1		1	1		2	7	
仕事探し・就職について						1	1	1				2	5	
仕事上の不安やトラブル				1									1	
地域との関係について										1			1	
家族との関係について			1									1	2	
子育てのこと													0	
介護のこと												1	1	
ひきこもり・不登校							1						1	
DV・虐待													0	
食べるものがない	1		1				1		1				4	
その他				5	1	1		2	1				10	
合計	4	0	7	22	1	11	7	9	5	5	0	12	83	

2. 就労準備支援事業

令和7年度は被保護者2名が事業を利用されたが、心身の状態が不安定となり支援できる状況ではなくなったため、いずれも利用中止となっている。就労準備支援が必要と思われる相談は複数件あるが、ひきこもりや精神疾患など特性があるケースが多く、具体的な事業説明や初回面談まで至っていない。

【月別支援実績】

月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数
4月	生活困窮者 0名 被保護者 1名	0 4	7月	生活困窮者 0名 被保護者 0名	0 0	10月	生活困窮者 0名 被保護者 0名	0 0	1月	生活困窮者 0名 被保護者 0名	0 0
5月	生活困窮者 1名 被保護者 0名	4 0	8月	生活困窮者 0名 被保護者 0名	0 0	11月	生活困窮者 0名 被保護者 0名	0 0	2月	生活困窮者 0名 被保護者 0名	0 0
6月	生活困窮者 1名 被保護者 0名	2 0	9月	生活困窮者 0名 被保護者 0名	0 0	12月	生活困窮者 0名 被保護者 1名	0 3	3月	生活困窮者 0名 被保護者 0名	0 0
										延人数	13

3. 子どもの学習支援事業

利用生徒全員が受験生であり、保護者や学校とも情報共有しながら進学に向けて支援を行った。6月から休止している生徒について、3月末をもって一旦終了とするが引き続き「居場所」として来所可能であることを伝えている。不登校の生徒については、小中学校の学習内容の定着を目的として進学後も支援継続の予定。利用終了となった生徒についても、定期的に進学後の生活状況を確認する。

【月別支援実績】

月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数
4月	中学生 4名 小学生 0名	7	7月	中学生 4名 小学生 0名	6	10月	中学生 4名 小学生 0名	7	1月	中学生 4名 小学生 0名	4
5月	中学生 4名 小学生 0名	5	8月	中学生 4名 小学生 0名	6	11月	中学生 4名 小学生 0名	4	2月	中学生 4名 小学生 0名	3
6月	中学生 4名 小学生 0名	5	9月	中学生 4名 小学生 0名	4	12月	中学生 4名 小学生 0名	5	3月	中学生 4名 小学生 0名	4
										利用延人数	60

4. 家計相談支援事業

9月30日をもって1件プランが終結。その後障がい福祉サービス利用者1名および、生活保護申請却下となった方1名について支援を実施したが、短期的な支援であったため家計改善プランは作成していない。3月に相談のあった複合課題および多重債務を抱えるケースについては、今後プランを作成する方針としている。

【支援実績】

利用者数	1名	支援延回数	12回
主な支援内容	・収支状況の聞き取り ・支出抑制への助言		

介護保険事業・障がい福祉サービス事業

介護保険事業・障がい福祉サービス事業

1. 居宅介護支援事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアマネA (予防・総合)	R6	40	37	36	37	35	35	35	37	35	38	34	35	434件
	R7	36	37	37	35	36	39	38	37	40	40	39	42	456件
ケアマネB (元気アップ)	R6	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	52件
	R7	5	5	5	5	5	5	5	6	5	5	5	5	61件
介護給付	R6	88	89	95	100	99	97	95	96	95	87	87	86	1,114件
	R7	90	88	89	91	91	92	94	93	95	90	88	90	1,091件
認定調査	R6	5	3	5	0	6	3	10	6	6	6	3	5	58件
	R7	5	6	3	3	5	4	7	2	4	2	6	4	51件
合計	R6	138	134	140	141	144	139	144	143	140	135	129	131	1,658件
	R7	136	136	134	134	137	140	144	138	144	137	138	141	1,659件
考察		要介護利用者は減少したが、予防・総合事業の増加や新規依頼の積極的な受け入れにより、収支差額は前年度よりプラスとなっている。また、ケアマネジメントの質の向上に向けて、事例検討や研修、情報共有を重ね、課題を抱えるケースにも対応した。 昨年度からケアプランデータ連携システムを活用中。操作等に慣れることでさらに事務を効率化し、そこで生まれた時間を対人援助の質の向上に充て、多様なニーズに応えられるように皆で努めたい。												

2. 訪問介護事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業	R6	93	70	61	89	98	94	106	86	93	82	87	99	1,058回
	R7	95	93	85	89	85	91	93	73	83	78	80	95	1,040回
身体介護	R6	112	138	133	124	136	98	94	99	109	108	114	127	1,392回
	R7	138	116	111	135	116	88	89	78	73	66	76	81	1,167回
生活援助	R6	110	129	118	130	117	111	116	114	99	73	72	81	1,270回
	R7	91	94	88	98	85	85	85	86	78	63	53	68	974回
身体・生活	R6	36	37	31	33	34	31	34	32	27	16	17	28	356回
	R7	39	28	37	39	48	51	51	52	53	43	42	28	511回
合計	R6	351	374	343	376	385	334	350	331	328	279	290	335	4,076回
	R7	363	331	321	361	334	315	318	289	287	250	251	272	3,692回

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数 (介護)	R6	27	26	30	27	27	24	23	23	24	25	24	26	306人
	R7	27	26	27	28	30	29	32	31	30	26	27	31	344人
実利用者数 (総合事業)	R6	15	11	14	12	12	14	15	16	16	15	13	13	166人
	R7	13	13	12	11	14	12	12	10	12	12	12	15	148人

※令和6年度 1か月あたりの平均利用者数 39.3人

※令和7年度 1か月あたりの平均利用者数 41.0人

考察		利用者の機能維持に基づいた計画により、利用者ができる事を共に行う身体及び身体生活での支援が増加している。8月以降、身体介護での利用者の入院(週5日、1日2回の身体介護)があり、大幅な支援回数減となった。冬季に入院、施設入所が相次いだため、利用者数及び訪問回数が減となったが、暖かくなるにつれ、新規や訪問回数が増える傾向にある。												
----	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 支援訪問介護だいせん（障がい福祉サービス事業）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護	R6	91	81	77	94	92	100	121	100	100	87	82	92	1,117回
	R7	89	90	87	95	84	95	93	89	91	82	82	87	1,064回

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	R6	10	11	11	11	12	12	12	10	10	10	10	10	129人
	R7	11	11	10	10	11	11	11	11	11	9	9	9	124人

※令和6年度 1か月あたりの平均利用者数 10.8人

※令和7年度 1か月あたりの平均利用者数 10.3人

考察	新規依頼はなく1月利用者2名減。介護保険より若い方が多いため利用が安定している。利用者ができることを一緒に行う身体介護での支援がほとんどである。
----	--

4. 地域密着型通所介護ほほえみ

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	R6	4	7	8	9	9	8	10	9	8	10	12	12	106人
	R7	14	13	12	18	15	14	12	6	12	10	8	5	139人
要支援2	R6	27	17	18	14	15	16	20	16	16	16	16	16	207人
	R7	18	18	16	20	24	35	45	31	33	27	28	29	324人
要介護1	R6	143	156	129	146	128	127	134	130	119	123	132	141	1,608人
	R7	158	159	170	171	149	159	177	158	208	185	191	214	2,099人
要介護2	R6	51	54	54	64	50	40	46	38	38	38	33	32	538人
	R7	28	42	44	62	53	67	85	71	64	56	54	60	686人
要介護3	R6	30	28	34	41	31	34	49	43	29	26	27	29	401人
	R7	30	30	29	9	6	0	0	11	11	9	9	19	163人
要介護4	R6	0	0	0	10	7	16	23	20	10	0	14	20	120人
	R7	13	12	20	13	13	13	14	12	13	11	12	13	159人
要介護5	R6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
	R7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
(総合) 延べ利用者数	R6	31	24	26	23	24	24	30	25	24	26	28	28	313人
	R7	32	31	28	38	39	49	57	37	45	37	36	34	463人
(介護) 延べ利用者数	R6	224	238	217	261	216	217	252	231	196	187	206	222	2,667人
	R7	229	243	263	255	221	239	276	252	296	261	266	306	3,107人
(総合+介護) 合計	R6	255	262	243	284	240	241	282	256	220	213	234	250	2,980人
	R7	261	274	291	293	260	288	333	289	341	298	302	340	3,570人
営業日数	R6	22	23	20	23	22	21	23	21	22	23	20	21	261日
	R7	22	22	21	23	21	22	23	20	23	22	20	22	261日

※令和6年度 1日あたりの平均利用者数 11.4人

※令和7年度 1日あたりの平均利用者数 13.7人

考察	長期的な入院や夏期・冬期入所もあったが、新規利用の受け入れが多く利用者増加に繋がった。 利用者ニーズの多様化により、個別支援の充実化を図った。地域密着型通所介護ならではの小規模な特性を生かし、畑仕事や書道等の『やりたい』を叶えることや認知症の周辺症状を職員が理解し寄り添うことで落ち着いて過ごしていただくことが出来た。以上のようなことから継続利用に繋がったのではないかと考えることが出来る。
----	---

【元気アップ教室ほほえみ（通所型サービスA）】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	R6	10	8	10	10	8	10	14	8	8	0	0	0	86人
	R7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
営業日数	R6	5	4	5	5	4	5	5	4	4	4	4	4	53日
	R7	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	5	52日

※令和6年度 1日あたりの平均利用者数 1.6人

※令和7年度 1日あたりの平均利用者数 0.0人

考察	問い合わせをいただくことはあったが、元気アップ教室の利用者がいないため社会交流が出来ないという理由で、利用に繋がることはなかった。今後は居宅介護支援事業所等への広報活動を積極的に行い、利用者の獲得を図る。
----	--

5. 通所介護だいせん

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	R6	9	4	0	0	6	5	7	12	8	10	12	11	84人
	R7	18	16	20	22	21	13	14	16	14	8	7	13	182人
要支援2	R6	93	69	55	61	57	61	62	61	61	66	62	60	768人
	R7	53	50	51	41	42	52	40	32	34	23	31	55	504人
要介護1	R6	169	162	156	157	139	166	189	163	169	150	143	175	1,938人
	R7	188	196	211	255	232	258	256	231	248	230	220	216	2,741人
要介護2	R6	123	133	122	163	150	131	106	123	122	108	103	102	1,486人
	R7	113	90	94	100	70	66	84	76	86	70	77	82	1,008人
要介護3	R6	21	36	35	47	34	25	36	22	49	46	43	49	443人
	R7	52	74	62	65	72	81	86	59	77	63	63	78	832人
要介護4	R6	34	35	29	30	31	31	20	20	21	19	18	19	307人
	R7	19	7	7	7	5	8	23	32	39	28	33	40	248人
要介護5	R6	30	30	26	24	25	29	35	31	28	20	20	21	319人
	R7	30	36	36	36	36	37	36	34	27	20	20	22	370人
(総合) 延べ利用者数	R6	102	73	55	61	63	66	69	73	69	76	74	71	852人
	R7	71	66	71	63	63	65	54	48	48	31	38	68	686人
(介護) 延べ利用者数	R6	377	396	368	421	379	382	386	359	389	343	327	366	4,493人
	R7	402	403	410	463	415	450	485	432	477	411	413	438	5,199人
(総合+介護) 合計	R6	479	469	423	482	442	448	455	432	458	419	401	437	5,345人
	R7	473	469	481	526	478	515	539	480	525	442	451	506	5,885人
営業日数	R6	22	23	20	23	22	21	23	21	21	20	20	21	257日
	R7	22	22	21	23	21	22	23	20	22	20	20	22	258日

※令和6年度 1日あたりの平均利用者数 20.8人

※令和7年度 1日あたりの平均利用者数 22.8人

考察	新規の依頼は断ることなく受け入れを継続している。休まれた方の振替利用や、利用回数の増についての検討を行い、利用者数は増加傾向となっている。他事業所への広報活動も継続し新規利用者の獲得を目指していきたい。 お誕生月に希望を叶えるイベントを実施し、クラブ活動もクラブ数を増やし継続している状況である。今後も居心地の良い安心して過ごしていただけるサービスの提供に努めていきたい。
----	---

【元気アップ教室だいせん（通所型サービスA）】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	R6	26	32	26	26	24	25	32	24	25	29	28	22	319人
	R7	30	38	25	38	18	27	34	27	24	23	26	26	336人
営業日数	R6	4	4	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	50日
	R7	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	51日

※令和6年度 1日あたりの平均利用者数 6.4人

※令和7年度 1日あたりの平均利用者数 6.6人

考察	現在利用者数は7名となっている。7月より作業療法士が担当しており、知的活動プログラムや体力測定を取り入れながら実施している。デイサービスだいせんの行事にも参加され、交流の機会を設ける取り組みも行っている。
----	--

6. 支援通所介護だいせん（障がい福祉サービス）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	R6	0	0	0	23	16	21	18	4	4	7	8	9	110人
	R7	7	9	9	9	11	13	18	16	18	15	15	18	158人
営業日数	R6	22	23	20	23	22	21	23	21	21	20	20	21	257日
	R7	22	22	21	23	21	22	23	20	22	20	20	22	258日

※令和6年度 1日あたりの平均利用者数 0.4人

※令和7年度 1日あたりの平均利用者数 0.6人

考察	週2回利用1名、週1回利用2名の現在3名の利用者数となっている。延べ利用者数は増加傾向となっている。
----	--

7. サポートセンターだいせん

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
請求件数	R6	38	42	30	29	29	30	32	30	27	30	23	24	364件
	R7	33	30	32	29	26	32	32	30	31	25	27	34	361件
一般相談	R6	5	5	2	7	4	4	5	5	4	5	5	1	52件
	R7	7	3	6	6	6	3	3	4	4	3	10	3	58件
障害者 相談支援	R6	31	35	24	23	23	25	27	27	23	23	18	28	307件
	R7	24	24	27	20	22	26	25	26	27	16	22	24	283件
障害児 相談支援	R6	7	6	6	6	6	5	5	3	4	7	5	6	66件
	R7	9	6	5	9	4	6	7	4	4	9	5	10	78件

考察	計画相談は、一般就労への移行や状態変化に伴う利用終了になるケースもみられたが、全体の請求件数はほぼ横ばいで推移をした状況だった。 新規相談については、障がい児が専門的療育へつながるケースや介護と障がいの併用のサービス利用など増加傾向にある。 また、一般相談では公的な障害認定を受ける前の初期段階や多問題を抱える利用者や支援困難ケースなども増加している。
----	---

職員研修及び会議等参加状況

令和7年度 職員研修及び会議等参加状況報告

	期日	内容	関係課
1	4月15日	令和7年度市町村老連事務局担当者会議	福祉総務課
2	4月16日	大山町相談支援連絡会	介護課
3	4月17日	大山町地域ケア会議	介護課
4	4月22日	令和7年度 生活福祉資金市町村社協担当職員事業説明会	福祉総務課
5	4月24日	大山町障害福祉事業所連絡会	介護課
6	4月24日	令和7年度 日常生活自立支援事業担当者研修	福祉総務課
7	5月1日	鳥取県老人福祉施設協議会オンライン研修	介護課
8	5月8日	大山町精神家族会あさひの会	介護課
9	5月8日	令和7年度 生活困窮者自立支援事業初任者研修会	福祉総務課
10	5月15日	鳥取県老人福祉施設協議会総会	介護課
11	5月16日	第一回居宅介護支援事業所合同研修会	介護課
12	5月23日	市町村社会福祉協議会新任職員研修(1日目)	共通
13	5月23日	大山町地域包括支援センター連絡会『成年後見制度の活用について』	介護課
14	5月26日	大山町日常生活支援サービス事業会議	介護課
15	5月26日	生産性向上委員会	介護課
16	5月26日	市町村社会福祉協議会新任職員研修(2日目)	共通
17	5月27日	生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援職員研修	福祉総務課
18	5月27日	第1回地域連携リソースナースセミナー(コーチング)	介護課
19	5月30日	第1回市町村社協常務理事・事務局長会議	共通
20	6月4日	令和7年度鳥取県老人福祉施設職員研究会	介護課
21	6月7日	主任介護支援専門員更新研修(合計49.5時間) ※10/25まで	介護課
22	6月11日	令和7年度社会保険制度説明会	共通
23	6月14日	市民後見人養成講座	福祉総務課
24	6月18日	大山町相談支援連絡会	介護課
25	6月20日	若者のメンタルヘルス研修	福祉総務課
26	6月20日	長寿社会開発センター研究セミナー『統合失調症、発達障害』	介護課
27	6月20日	『心と体の健康のつどい』～エンディングノート、ACP等～	介護課
28	7月1日	介護専門職研修会(接遇・応対力向上)	共通
29	7月3日	生活困窮者自立支援事業に係る担当者連絡会	福祉総務課
30	7月8日	第14回赤い羽根全国ミーティング(～9日)(新霞が関ビル)	福祉総務課
31	7月8日	ネットワークほうき定例学習会(WEB)	福祉総務課
32	7月11日	第二回居宅介護支援事業所合同研修会	介護課
33	7月15日	大山町総合計画素案作成ワーキンググループ会議	共通
34	7月17日	感染防止対策オンライン研修	介護課
35	7月18日	生活困窮者自立支援制度 支援ツール活用セミナー	福祉総務課
36	7月19日	市民後見人養成講座	福祉総務課
37	7月22日	えんくり事業相談員連絡会	福祉総務課
38	7月24日	令和7年度日野町災害時たすけあいセンター設置運営訓練	福祉総務課
39	7月25日	第1回生活支援コーディネーター研修	福祉総務課
40	7月29日	大山町障害支援者会義	介護課
41	7月29日	介護専門職研修(新人研修)	介護課
42	7月29日	新人研修「持ち上げない介助の基本を学ぼう」	介護課
43	7月30日	生活困窮主任相談支援員初任者研修(ロフォス湘南～8/1)	福祉総務課

	期日	内容	関係課
44	7月30日	令和7年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修(国研修)主任相談支援員初任者研修	福祉総務課
45	7月31日	多機関支援精神患者に係る処遇検討会議	介護課
46	8月1日	身障協会分担金(会費)の見直しに係る意見交換会	福祉総務課
47	8月5日	未来を切り拓く若手ドライバーの会in米子	福祉総務課
48	8月6日	令和7年度全国福祉教育推進員研修	福祉総務課
49	8月6日	生活困窮者自立支援事業人材養成研修	福祉総務課
50	8月7日	日常生活自立支援専門員連絡会	福祉総務課
51	8月8日	介護専門職研修(アンガーマネジメント)WEB	介護課
52	8月12日	ネットワークほうき定例学習会(WEB)	福祉総務課
53	8月18日	認知症オンライン研修	介護課
54	8月19日	大山町障害福祉事業所連絡会	介護課
55	8月19日	重層的支援会議	福祉総務課
56	8月19日	トラウマインフォームドケア研修	福祉総務課
57	8月20日	共同募金委員会担当者会	福祉総務課
58	8月21日	鳥取県老人福祉施設協議会研修委員会オンライン会議	介護課
59	8月21日	安全運転管理者講習(大山支所)	共通
60	8月21日	安全衛生推進者養成講習	福祉総務課
61	8月26日	大山町障害事業所懇談会	介護課
62	8月26日	生産性向上委員会	介護課
63	8月26日	重層的支援会議	福祉総務課
64	8月26日	大山町相談支援連絡会	介護課
65	9月4日	令和7年度強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)1日目WEB	介護課
66	9月5日	令和7年度強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)2日目WEB	介護課
67	9月8日	第2回生活支援コーディネーター研修	福祉総務課
68	9月9日	ネットワークほうき定例学習会(WEB)	福祉総務課
69	9月9日	生活困窮者自立支援事業人材養成研修	福祉総務課
70	9月10日	安全運転管理者講習(中山支所)	共通
71	9月17日	地域定着支援に係る関係機関等連絡協議会	介護課
72	9月18日	大山町地域ケア会議	介護課
73	9月18日	介護専門職研修(褥瘡)	介護課
74	9月20日	市民後見人養成講座	福祉総務課
75	9月25日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程(チームリーダーコース)(1日目)	共通
76	9月26日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程(チームリーダーコース)(2日目)	共通
77	9月26日	鳥取県ボランティア市民活動センター運営委員会	福祉総務課
78	9月30日	大山町総合計画素案作成ワーキンググループ会議	共通
79	10月2日	日常生活自立支援事業 第3回専門員連絡会	福祉総務課
80	10月7日	生活福祉資金貸付事業のデジタル化に関する説明会	福祉総務課
81	10月9日	大山町地域ケア会議	福祉総務課
82	10月15日	大山町相談支援連絡会(WEB)	介護課
83	10月16日	第3回生活支援コーディネーター研修	福祉総務課
84	10月18日	市民後見人養成講座	福祉総務課
85	10月21日	令和7年度大山町地域ケア推進会議	福祉総務課
86	10月23日	生活困窮者自立支援事業人材養成研修	福祉総務課
87	10月23日	大山町地域リハビリテーション活動支援事業研修	介護課

	期日	内容	関係課
88	10月24日	民法(成年後見等関係)等の改正に関する中間試案を考える研修会	福祉総務課
89	10月24日	成年後見制度セミナー	福祉総務課
90	10月28日	大山町総合計画素案作成ワーキンググループ会議	共通
91	10月31日	西部自立支援協議会	介護課
92	10月31日	第2回えんくり相談員連絡会	福祉総務課
93	11月6日	大山町地域ケア会議	福祉総務課
94	11月7日	ボランティアコーディネータースキルアップ研修会	福祉総務課
95	11月7日	市町村社協ボランティアコーディネータースキルアップ研修・ボランティアセンター連携強化会議併催	福祉総務課
96	11月15日	市民後見人養成講座	福祉総務課
97	11月18日	地域包括支援センター研修	介護課
98	11月26日	家事関係機関と家庭裁判所の連絡協議会	福祉総務課
99	11月26日	ボランティア・市民活動の推進に関する関係省庁との懇談会(WEB)	福祉総務課
100	11月26日	大山町障がい福祉事業所連絡会	介護課
101	11月27日	生活困窮者自立支援事業人材養成研修	福祉総務課
102	11月27日	大山町地域ケア会議	福祉総務課
103	11月28日	地域福祉計画、地域福祉活動計画推進委員会	福祉総務課
104	11月29日	災害ボラセン設置訓練	共通
105	12月2日	生活困窮者自立支援事業人材養成研修	福祉総務課
106	12月4日	大山町地域ケア会議	福祉総務課
107	12月4日	日常生活自立支援事業専門員連絡会	福祉総務課
108	12月8日	えんくり事業相談員連絡会	福祉総務課
109	12月9日	介護専門職研修会(認知症)	介護課
110	12月13日	市民後見人養成講座	福祉総務課
111	12月15日	第2回えんくり事業相談員連絡会	福祉総務課
112	12月17日	大山町相談支援連絡会(WEB)	介護課
113	12月18日	大山町地域ケア会議	福祉総務課
114	12月22日	特例貸付フォローアップ支援業務に係る市町村社協職員研修会	福祉総務課
115	12月23日	第2回市町村社協常務理事・事務局長会議	共通
116	1月8日	重層的支援会議	福祉総務課
117	1月9日	地域リハビリテーション研修会	福祉総務課
118	1月14日	重層的支援会議	福祉総務課
119	1月15日	大山町地域ケア会議	福祉総務課
120	1月16日	福祉教育推進セミナー	福祉総務課
121	1月17日	市民後見人養成講座	福祉総務課
122	1月22日	生活困窮者自立支援事業人材養成研修(WEB)	福祉総務課
123	1月23日	令和7年度成年後見実務者研修【1日目】	福祉総務課
124	1月26日	西部地区ボランティアセンター職員意見交換会	福祉総務課
125	1月28日	生活困窮者自立支援会議	福祉総務課
126	2月5日	大山町地域ケア会議	福祉総務課
127	2月13日	令和7年度成年後見実務者研修【2日目】	福祉総務課
128	2月14日	市民後見人養成講座	福祉総務課
129	2月17日	生産性向上委員会	介護課
130	2月18日	えんくり事業「地域貢献セミナー」	福祉総務課
131	2月18日	第3回えんくり事業相談員連絡会	福祉総務課

	期日	内容	関係課
132	2月18日	大山町要保護児童対策地域協議会代表者会	福祉総務課
133	2月19日	大山町地域ケア会議	福祉総務課
134	2月25日	相談支援専門員と保健師との意見交換会	介護課
135	2月25日	大山町相談支援連絡会	介護課
136	2月26日	中間的就労支援推進セミナー	福祉総務課
137	2月26日	共同募金担当者会議	福祉総務課
138	3月3日	第2回市町村社協ボランティアセンター連携強化会議	福祉総務課
139	3月5日	鳥取県ボランティア・市民活動センター運営委員会	福祉総務課
140	3月5日	大山町地域ケア会議	福祉総務課
141	3月10日	令和7年度生活困窮者自立支援推進会議	福祉総務課
142	3月10日	令和7年度権利擁護セミナー	福祉総務課
143	3月10日	日常生活自立支援事業業務委託料に係る説明会	福祉総務課
144	3月11日	第1回えんくるり事業企画委員会	福祉総務課
145	3月12日	Kねっと全国セミナー（成年後見制度）	福祉総務課
146	3月18日	第3回えんくるり事業相談員連絡会	福祉総務課
147	3月19日	生活困窮者自立支援事業人材育成に係る企画検討会	福祉総務課
148	3月24日	とっとり地域支え合い推進フォーラム2026	福祉総務課

令和7年度 ジョブメドレーアカデミー受講状況

期日	内容	関係課
5月1日～6月30日	倫理及び法令遵守に関する研修	共通
5月1日～6月30日	生活相談員向け研修～生活相談員とは～	共通
5月1日～6月30日	新人研修～社会人基礎スキル～	共通
5月1日～6月30日	新人研修～電話対応・メール・来客対応～	共通
5月1日～6月30日	リーダーシップ研修～リーダーとしての心構え～	共通
5月1日～6月30日	接遇に関する研修	共通
5月1日～8月31日	サービス提供責任者向け研修～サ責の役割とは～	介護課
5月1日～8月31日	生活相談員向け研修～生活相談員に求められる力～	介護課
6月1日～7月31日	生活相談員向け研修～対人援助技術～	介護課
6月1日～8月31日	排泄・入浴・食事介助の基本	介護課
6月1日～8月31日	排泄・入浴・食事介助の実践	介護課
7月1日～7月31日	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	共通
8月1日～8月31日	緊急時の対応に関する研修	共通
9月1日～9月30日	事故発生又は再発防止に関する研修	共通
8月1日～10月31日	新人研修③～チームでの仕事の進め方～	共通
5月1日～11月30日	入浴介助研修（入浴介助基礎）	介護課
8月1日～10月31日	リーダーシップ研修～介護現場におけるリーダーシップ～	介護課
8月1日～11月30日	生活リハビリ研修	介護課
9月1日～11月30日	自立支援介護の実践研修	介護課
9月1日～11月30日	口腔ケア研修	介護課
9月1日～12月31日	サービス提供責任者向け研修②～サ責の具体的な役割と行動～	介護課
10月1日～10月31日	介護現場で気をつけたいプライバシー保護	共通
11月1日～11月30日	感染症及び災害に係る業務継続計画のために研修（感染症）	共通
11月1日～1月31日	自立支援介護の実践研修～歩行ケア理論～	介護課
11月1日～1月31日	クレーム対応の概要	介護課
11月1日～1月31日	入浴介助研修（入浴で気をつけること）	介護課
12月1日～12月31日	感染症及び災害に係る業務継続計画のための研修（自然災害）	共通
12月1日～1月31日	ヒヤリハット研修①～ヒヤリハットとは～	介護課
1月1日～1月31日	身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修	介護課
1月1日～2月28日	サービス提供責任者向け研修③～モニタリング・自立支援介護～	介護課
1月1日～3月31日	新規入職者の方向けの研修（1月～3月）	共通
2月1日～2月28日	管理職の不安を業界リーダーが徹底解決!①リーダーシップとは～	共通
2月1日～2月28日	認知症及び認知症ケアに関する研修	介護課
2月1日～3月31日	クレーム対応研修～クレーム対応とカスタマーハラスメント～	共通
3月1日～3月31日	介護予防及び要介護度進行予防に関する研修	介護課
3月1日～3月31日	ハラスメントに関する研修	共通